

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 26 年度	学 位 名	修 士 (ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 井上 徹
指導教員氏名 岡田幸彦			
論文題目 病院選択における意思決定論理の実証的研究-茨城県西, 県南のデータから-			
論文概要 <p>わが国の医療制度では, 人々が医療サービスを受ける際に, 自分の意思で地域のかかりつけ医から大病院まで自由に選択することが可能である. しかしその一方で, 多くの人は軽度の症状にも関わらず, 初診の際に地域のかかりつけ医ではなく, 大学病院などの大病院を選択する傾向にあり, 外来患者の大病院集中を引き起こしている. そのため, 本当に高度な治療を必要としている人が, 治療を受けられないことが生じることから, 患者が適切に病院選択を行える取り組みが急務とされている.</p> <p>そこで, 本研究ではまず初めに, 茨城県西部, 南部の住民を対象としたアンケート調査を基に, 大病院, かかりつけ医に通院する人の属性について研究を行った. 具体的には, 同様の分析を行った, 塚原(2004), 遠藤(2004)の再現分析を行い, 大病院, かかりつけ医に通院する人の属性が, この約 10 年間でどのように変化しているかを検証した.</p> <p>次に, 人々の意思決定スタイルが病院選択(かかりつけ医または大病院)どのような影響を及ぼしているかを分析した. 先行研究では, 消費財の購入の際に, 人々の心理的要因(特に将来の後悔を予想する後悔予期)が意思決定に影響を及ぼしていることから, 同様に病院選択においても, 心理的要因が病院選択に影響を及ぼしているかの検証を行った.</p> <p>最後に, かかりつけ医, 大病院に対して人々がどのようなイメージを持っているかについて分析を行った. それぞれのイメージの違いを明確にすることで, どのようにすればかかりつけ医に行く患者を増やし, 患者の大病院集中を緩和することができるかについて考察を行った.</p>			
審査日 平成 27 年 1 月 30 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	博士(商学)	岡田 幸彦
副査	筑波大学 准教授	博士(学術)	上市 秀雄
副査	筑波大学 助教	博士(工学)	川村 大伸